

【7月例会 理事長挨拶】

7月例会

日時:2016年7月8日(金)

会場:ロイヤルホールヨコハマ

テーマ:創発×情熱

皆様こんばんは。

本日は7月例会にお集まり下さいましてありがとうございます。

先ず初めに7月例会にお越し頂いている方々を紹介させて頂きます。

公益社団法人日本青年会議所国家グループサマーコンファレンス運営特別委員会長岡伸剛君をはじめとするメンバーの皆様にお越し頂いております。続きまして公益社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会守屋宣成君をはじめと致しますメンバーの皆様にお越し頂いております。続きまして特別会員として昨年度ご卒業されました三井寿浩先輩にお越し頂いております。誠にありがとうございます。

さて先般、総会が開催されまして2020年のJCI WORLD CONGRESSの誘致活動を始めさせて頂く事になりました。2020年という年は東京オリンピック・パラリンピックが行われるのですが例年以上に日本が注目される年になると感じております。それだけには止まらずこの年には大きな変化が起きるのではないかという事も感じております。今朝、日経新聞にも掲載されていましたが第四次産業革命という言葉を聞いた事があると思いますが、ドイツですとインダストリー4.0という言い方をされて一昨年頃から新聞やマスコミで取り上げられています。インダストリー4.0とは、物作りの産業革命の中でも今までの時代は大量生産、大量消費の時代でしたが、それに変わりまして少量生産にも対応出来る仕組み作りがインダストリー4.0と言われております。ドイツでは国家の一大事業として取り組みを始めております。アメリカに目を向けるとオバマ大統領は3Dプリンターが次の製造業の時代になって行くのではないかという事を言っておられました。その様な大きな波が少なくとも起きているという時代です。その中で横浜青年会議所が時代の潮流に乗って行くきっかけが世界会議にあるのではないかと思っております。世界が動きだすこの瞬間という事で横浜は日本国内では海外から様々な物を受け入れて発展してきたまちと言われております。その時代において横浜が世界から注目されるまちになるきっかけにJCI WORLD CONGRESSがなるのではと思います。青年会議所は事業という物を作り発信しております。事業とはやれば成功ではなくてその事業を構築する過程においても様々な事があり事業になって行く。そのストーリーを大切にして活動していく事が大切だと思っております。私は世界会議がゴールでは無いと感じております。2020年代大きな時代の潮流があり変革して行く。2000年頃はIT革命、第三次産業革命と言われました。情報が世界中どこでも引き出せ、世界中どこでも同じ情報をみんなが共有できる様になりました。その様な大きな変革がありました。

2020年代に第四次産業革命が起きればまた大きな波が来ると感じております。その中で私たちがどのような活動をして行けば良いのか、横浜青年会議所としてどういう存在意義を出して行けばいいか、とても大切な事だと思います。先程、ストーリー・物語が大切だと話をしましたがそれを実現する為には私たち青年会議所メンバーだけでは中々できる事ではありません。様々な所でお話しさせて頂いておりますが企業やNPOや他団体や市民の方々と多様な関係性を持ち、接する事で新たな関係構築をして行くのです。世界会議を4年後に開催するかもしれません。また、横浜青年会議所の70週年が5年後になりますから今から全ての事がスタートしているという事です。2016年度も後半に入りましたが残り半年もそして2017年も共感を忘れず日々培っていければと思います。結果として世界会議を誘致し、開催でき、そこをゴールとせず、2020年のまちづくりに横浜青年会議所が大きく関わる事ができればと思います。そして私たちはその間に共通の志を持つ事が大切だと思います。同じ方向を向いてやろうと進んでも同じ志が無ければゴールが違ってしまいます。従って同じ志を持つ事が大切だと思っております。

本日は情熱というテーマのもとゴーゴーカレーの社長であられます宮森様にお越し頂きました。宮森様は42歳です。私たちとこれほど年齢が近い方が例会に来られる事も中々無い事だと思います。ゴーゴーカレーは創業13年目に入った会社です。宮森様は創業した年からニューヨークヤンキースで松井選手が活躍したのを見て自分もニューヨークで活躍したいという熱い想い、情熱を持った方です。JCの綱領にありましたが「情熱を持って明るい豊かな社会を築きあげよう」と宣言しているのですから情熱を持つ事が重要であると感じて頂きたいと思います。また、委員会で懇親会もあると思うが本日の例会について情熱を持って話して頂けたら幸いです。最後になりますがいよいよ来週末にサマーコンファレンスが開催されます。

日頃から大変お世話になっておりますサマーコンファレンス運営特別委員会の長岡特別委員長を始め多くの皆様へお越し頂いております。また、副委員長として眞鍋大介君他多くのメンバーや担当委員会であります松尾委員長を始めとするメンバーが大変お世話になっております。ここまで横浜で2月、3月、5月、6月、7月と5回の委員会を開催頂きました。私は毎回ご挨拶にお伺いさせて頂きましたが今年のサマーコンファレンスの委員会は本当に素晴らしいと思いました。何よりも参加者が凄く多く、そして盛り上がる時には本当に盛り上がるという素晴らしい委員会だと思います。山本会頭が良く言われている中で「やるときはやる。遊ぶ時は遊ぶ」という言葉がありますが正しくそれを体現されています。ここまで来たら「サマーコンファレンス運営特別委員会×横浜青年会議所」でしっかりとサマーコンファレンスを下支えしたいと思います。全国各地から1万人近いメンバーが来られるのです。このメンバーの皆様が横浜で楽しんで頂く事が必要な事です。だからこそ私たちがどの様な姿勢で全国の皆様をお迎えするのかが非常に重要なのです。これまで20回サマーコンファレンスを行って頂きました。今年で21回目となります。今年も新しく多くのメンバーを迎えました。単年度という事もあり毎年が新しいサマーコンファレンスになるのですが節目の20回が終わり新たに21回目のサマーコンファレンスです。

来週の共同記者会見、市長レセプション、日本JCの理事会そして土曜日、日曜日とサマーコンファレンスが開催されますので委員長を始めと致します多くのメンバーがこの日をしっかりとコミットして頂きたいと思っております。サマーコンファレンスに一所懸命に取り組めば何かが掴めると思います。必ずメンバーの成長があるからこそサマーコンファレンスを預からせて頂いているのです。先輩方から引き継いで来たこの伝統をまた来年へ引き継ぐべく私たちは真摯に取り組む必要があります。本日は本当に多くのメンバーに会場に来て頂きました。そして来年へ向けてしっかりと活動を残り半年一步一歩進めて参りましょう。以上をもちましてご挨拶とさせて頂きます。

ありがとうございました。